

vol.8 Saishigakuhoren NEWS

埼玉私学保連ニュース

平成22年度私学振興大会を終えて

平成22年11月18日（木）「さいたま市文化センター大ホール」に於いて、平成22年度埼玉県私学振興大会が、県内の私立学校から2000名以上の保護者が集い盛大に開催されました。

大会スローガンは、

「学校選択の自由を保証する
教育環境の整備を!!」

「公私間格差を是正し
学習する権利の保証を!!」

4回目の今年初めて、公務ご多忙の中、上田県知事が来賓として列席され祝辞を賜りました。そのなかで、知事は、明治以来日本の発展を支えてきた知的水準の低下傾向を憂慮され、県内私学が公教育の牽引役であるという観点にたち、子供達の未来=我々の未来と



いう事実から、未来への投資ということで支援制度を丁寧に行なっていくことを約束されました。

その後、日本私立中学高等学校連合会の吉田会長の祝辞が堀井副会長より代読され、日私保連の新延会長の祝辞と続き、来賓の2名の衆議院議員、14名の県会議員の紹介がありました。



そして、初の試みとして、県会議員の野本陽一先生と中高協会会長の小川先生との私学全般についての対談が行われました。

埼玉県では、学校運営補助金と父母負担軽減の総額では全国上位に入るが、負担軽減の方に偏りすぎているために数字の取り方では、残念な結果になってしまっている現状があります。特に、野本先生は、全国に誇れるバウチャー制度によって、お金の流れが見えるようにされました。

また、野本先生は、私学の出身で私学に対

発行 埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会

所在地 さいたま市浦和区高砂4-13-20 埼玉私学会館内

TEL 048-866-4478 FAX 048-866-4479

しては、「それぞれ建学の精神を持ち、理念を持って教育を行なっている。振り返ると人生の糧になっている。」と語られ、最後に「戦後教育の中で結果の平等を追求してきた。個人的には、結果の不平等が歴然として存在するけれども、正当化され容認されるには、それに至る過程が公正であり、オープンでなければならない。」と話されました。

両先生の対談後、保連の浦部副会長より保護者の願い（意見表明）が発表され、引き続き大会決議案が採択され1部が終了しました。

大会決議案の内容の主旨は、埼玉県私学の発展、ひいては埼玉県教育の発展のため、今後とも学校、保護者が力を合わせて努力していく決意だが、政治、行政においても我々の意のあるところを酌み取り全面的にご支援くださるようお願い申し上げたいというものです。

2部では、山村学園高等学校のバトン部BOMBERSの迫力のあるチアダンスを堪能しました。

今年度の振興大会も皆様のご協力のもと盛大に開催することができましたことに厚く御礼申し上げますとともに、今後もさらなるご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



平成22年度研修会

平成23年2月20日（日）午後2時より、さいたま市文化センター多目的ホールに於いて

研修会を開催しました。

本年度は、NPO情報セキュリティフォーラム理事・事務局長の上田威先生に、＜子供達を取り巻く携帯電話及びインターネットによる問題＞（副題として「ネット時代の子育て」～サイバー犯罪の現状トラブル～）をテーマに講演をしていただきました。一時間半の短い時間ではありましたが、意外な子供達のネットとの繋がり（今では、携帯電話やパソコンの前にゲーム機で子供がネットと繋がってしまう）や、子供の適応力に応じたフィルタリングを行わなければならないという事実を知りました。

日本の法律がネット社会の進歩についていっていない現状の中で、デジタル万引きなどモラルの問題や、子供のネット利用時の情報の取捨選択、自制力、責任力など自分の身は自分で守るという、ネットの世界も現実社会と同じということを徹底させる必要があります。子供達が常にネット犯罪やトラブルの被害者や加害者になりうるという現実を知って、家庭内で良く話し合い、学ばなければと感じました。



その後、加盟校の保護者会活動の発表をしていただきました。

1. 本庄第一高等学校父母の会
2. 秋草学園高等学校PTA

それぞれ特徴ある活動は、参考になったと思います。

活 動 の 報 告

会長・副会長としての 3年間を振り返って

会長 早船 雅文



平成20年5月のある日、開智学園理事長の青木先生からの電話で、「私学保護者会連合会へ開智の代表として参加してください。」という話から、保連との係わりがスタートしました。

そして、初参加の理事予定者会議で副会長予定者になってしまったことが、翌年から会長を引き受ける結果となりました。当時は、この保連を県と県議会議員に認知してもらうことが第一の目標でした。その為に私学振興大会を盛大に開催し、会員の皆様に協力いただいた県議会への請願署名活動を行い続けることにより、この3年間でようやく認められるようになり、今年のような振興大会となりました。

「青少年の健全育成」と「私学振興」を掲げ、4年前に設立された埼玉県私学保護者会連合会。これまでの運動にかかわられたすべての方に敬意を表し、これからの活動を暖かく見守っていきたいと思います。



埼玉私学保連での3年間

副会長 浦部 真理子



保連の理事となり、あっという間に3年の月日が経ってしまいました。この間、保連活動の根幹である『私学振興』の重要性を学ぶと共に、保連の存在意義とその活動の重要性を知りました。

保連の設立から4年が過ぎましたが、設立当初その存在が全く認められず、請願署名も受け付けて貰えませんでした。しかし、根気良く働きかけた結果、日を追うごとに認められる様になり、現在に至りました。これも立ち上げから関わってこられた先輩理事・役員の皆様のご苦勞の賜物であったと思います。

私は立ち上げメンバーの皆さんの熱い想いを引き継いで理事となり3年が経ちましたが、果たして何が出来たのか大いに疑問ではあります。ただ新しく理事になられた皆様に、先輩方の熱い想いを伝える事は出来たと自負して居ります。

3年間お世話になりました理事の皆様、中高協会の先生方、事務局の皆様有難うございました。これからも皆様のご活躍により、埼玉県の私学が更なる発展をされます様祈って居ります。

保護者会の 活動紹介

第3回目

《開成学園父母の会》

大宮開成中学高等学校は、昨年度開校50周年を迎え、開成学園父母の会も35周年を迎えました。長い歴史の中で、父母の会は多くの保護者の皆さんと、後援会・学校の協力の下、活動を続けています。

本会は、公よりの私学助成費増額を促進し、教育費の父母負担軽減を図ることと、学園の教育充実発展に寄与すると共に、会員相互の親睦を図ることを目的としています。運営全般を行う運営部、広報紙の発行作業を行う広報部、懇親会や研修旅行などの企画運営を行う総務部、中高一貫理事に分かれ、本年度は109名で活動しています。

毎年秋に行われる「開成祭」には、役員自らも楽しみながら参加しています。恒例となった運営部出店の「青空市」は、季節の果物をお手頃価格で販売し、毎年大好評で最後は完売御礼の札で幕を閉じます。一昨年より開成の校章の焼き印入りどら焼きも販売し、受験を控え見学を訪れた皆さんにも大人気です。「青空市」の売り上げは、生徒会に寄付させて頂いています。また中高一貫部や総務部主催の休憩所は、保護者の皆さんの手作り作品に囲まれ、お菓子やコーヒー等で寛ぎの空間となっています。他にも子供達の活動に身近に接する機会を多く頂き、体育祭や芸術



鑑賞会などにも参加させて頂いています。

役員を通して、親離れをしてなかなか近づけなくなった高校生の子供達をそっと見守る良い機会を頂けたと感謝すると共に、一緒に活動する役員仲間は、役員が終わった後も大切な友人となり、大人になってからの友情は役員生活の最高の醍醐味です。

一年間ありがとうございました



平成22年度も皆様に支えられて、1年間活動を続けることができました。理事一同感謝申し上げます。

今後の予定

- 5月22日（日）加盟校等代表者協議会
埼玉会館にて
- 6月5日（日）23年度定期総会
さいたま市文化センターにて
- 11月18日（金）埼玉県私学振興大会
さいたま市文化センターにて

新年度も引き続きご協力の程、
宜しくお願い致します。

そして3月11日の東北・関東大震災で亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに被害に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。より早い復興を心よりお祈り申し上げます。